



令和4年度 第2回 香臨技理事会議事録

日 時 ; 2022年5月31日(火) 19:00～22:30
場 所 ; ZOOM 会議
出 席 者 ; 宮川朱美(会長)、松村孝雄(副会長)、長町健一(副会長)、太田安彦(事務局長)、
小原浩司(経理部長)、香西宣秀(学術部長)、小林万代(広報部長)、森本弘美(福祉部長)、
篠原由美子、木内洋之、福田智、藤村一成、十川直美(以上理事)、横内美和子(監事)、
多田達史(監事)、時岡出津美(事務局) (順不同)
欠 席 者 ; 高水竜一(理事)
司 会 ; 宮川朱美
書 記 ; 太田安彦

I. 報告事項

議事1. 一般社団法人愛媛県臨床検査技師会法人設立三十周年記念式典 Web 出席について(別添資料1)

＜宮川会長より報告＞

- * 一般社団法人愛媛県臨床検査技師会法人設立三十周年記念式典に Web 出席した。
- * 内容は宮島会長や企業の講演等であった。

議事2. 令和4年4月25日 中四国支部情報共有 Web 会議報告について

＜小原経理部長より説明＞

- * 4月25日(月)の Web 会議に出席した。
- * 問題になっているのは、日臨技の制度が精度保証から品質認証制度に変わったことにより更新ができていない施設が何施設かある。
- * 香川県では特に困っている施設はない。
- * 第2回臨地実習指導者の支部講習会が6月12日(日)に開催される。(中四国で11名参加予定)
- * タスク・シフト/シェア講習会は各県コロナの影響で開催されていない。(4月～5月間)

議事3. 関連団体賛助会費の振込報告について

＜小原経理部長より説明＞

- * 例年通り、高松サポート 公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローに1口2万円と地域包括システムケア学会団体会費の1口1万円を振り込んだ。

議事4. 令和4年4月1日～5月31日 香川県臨床検査技師会会員動向について

＜太田事務局長より説明＞

- * 5月31日現在総会員数730名、その内、今年度新・再入会者は18名、日臨技申請中が1名である。
- * 730名のうち会費未納者が10名居るので、各施設で会費未納者に案内をお願いする。

議事5. 挨拶状と名刺について(別添資料3)

＜宮川会長より報告＞

- * 香臨技の理事・監事就任挨拶状を6月吉日で各種団体に発送する。

- * 例年の発送先に加え、新たに協賛したいとの申し出があったミナリスメディカル株式会社にも送る。
- * 印刷する用紙は良質な物を使用する。
- * 新 3 役の名刺を作成したが、必要な人は個別に申し出る。

議事 6. 香川県がん対策推進協議会委員および部会委員の推薦について（別添資料 4）

＜宮川会長より報告＞

- * 香川県がん対策推進協議会委員に松村副会長を推薦した。
- * 香川県がん対策推進協議会の子宮がん部会は、新しく県立中央病院の山内豊子氏、大腸がん部会は引き続き小原理事を推薦した。

議事 7. 日臨技総会と中四国医学検査学会について

＜宮川会長より報告＞

- * 日臨技総会の議決権の行使をしていただきたい。香川県には 709 名の権利保有者がいるが、現在 188 名が行っている。(26.52%) 各施設で議決権の行使を進めていただきたい。
- * 中四国医学検査学会は演題募集の締め切りが再延長し 6 月 13 日になった。各施設で演題登録を進めていただきたい。現地開催にするかは 7 月中に決定する予定。

議事 8. 臨地実習指導者講習会について

＜多田監事より報告＞

- * 参加人数 60 名定員のところ今日現在で 40 名以上の申し込みがあったため 6 月 12 日（日）開催の予定である。
- * 第 3 回を来年の 2 月末ごろに予定している。

II. 審議事項

議事 1. 日本睡眠検査学会後援依頼について（別添資料 5）

＜宮川会長より報告＞

- * 日本睡眠検査学会から後援依頼があった。現在 H P を準備中であり、そこに協力団体として名前が掲載される。
- * W e b で第 3 回の睡眠検査学会があるので興味のある人は参加していただきたい。
- * 後援をするので臨検タイムスや H P でも周知していく。

＜決定事項＞

- ・理事会にて日本睡眠検査学会への後援が承認された。

議事 2. 香川県議会議員 綾田福雄氏 御悔について

＜宮川会長より報告＞

- * 5 月上旬に香川県立医療短期大学設立にご尽力いただいた香川県議会議員の綾田福雄氏が亡くなられた。
- * 十川元会長から連絡がきたのが告別式の当日であり、香典も弔電もできなかったもので、3 役で協議してお線香を送ることを検討した。

＜決定事項＞

- ・理事会にて承認された。

議事 3. 「感染拡大防止対策期における対策について」の掲載について（別添資料 6）

＜宮川会長より報告＞

- * ゴールデンウィーク前に県より周知があり H P に掲載しているが、最近の状況、屋外でのマスク非着用に関する政府の提言等の観点から、掲載を取りやめることを検討したい。

＜決定事項＞

- ・採決した結果、H P での掲載を取りやめることになった。

議事 4. 公益事業について

①精度管理事業 報告および説明

＜長町副会長より報告＞

- * 前任者の宮川会長とミーティングをして、引継ぎをしている最中である。
- * スケジュールは例年通りを検討している。8 月に委員会を開催し、その後専門委員会を開催し、発送の準備に取り掛かる予定である。
- * 今年度のメンバーに変更がないか確認する予定である。

＜決定事項＞

- ・メンバーが確定したら委嘱状を発送する。

②検査と健康展（別添資料 7）

＜宮川会長より報告＞

- * 日臨技より 6 月 17 日までに企画書と予算書の提出を求められている。
- * 今年度の中央会場は愛媛県の宇和島である。内容は展示やコロナ検査についてなどが多い。健康チェックは簡単なものしか計画していない。地方会場の概要は例年通り。開催の可否については検査と健康展のワーキンググループで検討し決定する。
- * 3 役で事前検討会議を行った。臨床検査専門医による相談コーナーは大変であることから、日臨技に確認して、趣旨から逸脱しなければ相談コーナーは無くても良いとの返事をいただいている。
- * 開催に関する事前アンケートの結果、感染状況に関わらず十分な感染対策を実施したうえで開催するという意見が多かった。
- * 開催場所については、香川県立保健医療大学とフジグラン丸亀で検討する。

＜決定事項＞

- ・開催することを前提で計画を立てる。
- ・香川県立保健医療大学大学祭（11 月 5 日）とフジグラン丸亀（開催日は後日検討）の両方開催で調整する。

議事 5. 担当行事希望調査結果について（別添資料 8）

＜宮川会長より報告＞

- * 担当行事希望調査を実施した。概ね希望通りに割り振りたい。また、以下のことに留意して担当を決定したい。
- * タスク・シフト / シェア講習会の実務委員は修了者でなければならず香川県では 6 名である。そのうちの 3 名は理事である。3 名の方は必ずタスク・シフト / シェア講習会の担当者をお願いしたい。
- * 検査と健康展の担当者は、フジグラン丸亀は藤村理事を中心に福田理事と進めてほしい。フジグラン丸亀の開催については山本元事務局長（回生病院）にも協力をお願いしている。保健医療大学での検査と健康展は小林広報部長を中心に太田事務局長と一緒に進めてほしい。
- * 精度管理調査は昨年試料の発送をお手伝いいただいた高水理事にも加わっていただきたい。

＜決定事項＞

- ・タスク・シフト / シェア講習会は理事修了者 3 名が中心となり担当する。
- ・検査と健康展について、保健医療大学は小林広報部長、フジグラン丸亀は藤村理事が中心で開催する。
- ・希望は出ていなかったが、精度管理調査の担当者に高村理事を加える。

議事 6. タスク・シフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会について（別添資料 9）

＜宮川会長より報告＞

- * 講習会の実務委員の配置数は 8 名である。（実務責任者：1 名、喀痰吸引・CGM：2 名、大腸肛門機能検査・内視鏡生検：2 名、静脈路・造影剤：3 名）
- * 開催回数は今年度 2 回で良いか。

＜決定事項＞

- ・タスク・シフト / シェア講習会の開催日については割り振りした担当者を中心にリモート会議で決めていく。
- ・日程は講師の先生の都合を確認したうえで決めていく。
- ・第一回実務責任者は修了者である森本福祉部長にお願いする。
- ・実務委員として、修了者である荒井前会長、保健医療大学の池亀先生、高松赤十字病院の日野さんに加わってもらい、足りない分は他県から派遣してもらうか他県にて受講可能か日臨技に確認し、開催までに他県で修了してきてもらう。
- ・精度管理調査はタスク・シフト / シェア講習会を避ける形で開催する。

議事 7. 学術活動 報告および説明について（別添資料 10）

＜香西学術部長より報告＞

- ＊ 4 月 17 日に本来であれば現地開催・ハイブリッド開催を予定していたが新型コロナウイルス感染症のためオンデマンド配信のみでの開催となった。配信期間は 4 月 25 日から 5 月 13 日まで。
- ＊ 学会参加人数は 151 名、総会は 140 名であった。
- ＊ アンケートの結果オンデマンド開催形式を継続してほしいという意見が多かった。
- ＊ アンケートを HP に掲載することを検討してほしい。
- ＊ 2022 年度、2023 年度の研究班班長、副班長が決定した。
- ＊ 中四国支部の部門員候補者が決定した。
- ＊ 2022 年度中四国支部医学検査学会のシンポジストについては微生物が香川労災病院の藤川栄吏氏、生物化学がキナシ大林病院の山本由紀氏にお願いした。生理と血液は現在人選中である。座長についても生理で 1 名人選中である。
- ＊ 新人研修会は今年度も 9 月頃にできれば現地で開催したい。
- ＊ 学術誌の発刊については学術部会を 6 月の中旬に開催予定であり、その後本格的に着手の予定。
- ＊ 今後の査読は班長・副班長の他、保健医療大学の先生方にもお願いしたい。

＜宮川会長より報告＞

- ＊ 医学検査の査読料に基づいて香臨技でも会員の査読者には査読料を支払うことを検討してはどうか。

＜決定事項＞

- ・学会アンケートを HP に掲載する。
- ・今後も県学会はハイブリッド開催（現地開催・オンデマンド配信）を検討していく。
- ・2022 年度、2023 年度の研究班班長、副班長が承認された。
- ・部門員候補者を中四国支部に提出する。
- ・研究班の班長・副班長と、部門員の名簿は臨検タイムスに掲載する。
- ・研究班の班長・副班長に学術権限を付与する。
- ・新人研修会はタスク・シフト / シェア講習会の日程を避ける形で 9 月に開催予定。（現地開催を検討）
- ・査読者に保健医療大学の教員が加わることは大学で検討して決定する。
- ・香川県の学術雑誌の査読に関すること（査読料や編集委員会の立ち上げ等）は次回検討する。

議事 8. 広報活動について

臨検タイムス担当者変更について

＜宮川会長より報告＞

- ＊ 現在小林広報部長が臨検タイムスを担当しているが、そろそろ後任を探さないといけない状況である。そこで藤村理事に後任をお願いしたい。

＜決定事項＞

- ・藤村理事が小林広報部長の後任として臨検タイムスを担当することに決定した。

議事 9. 行動費の支払い方法について（別添資料 11）

＜宮川会長より報告＞

*経費については会議費として1時間1,000円として、交通費としては場所に問わず一律1,000円と考えている。(日臨技に準ずる形)

＜決定事項＞

- ・理事会の日当・交通費は年度末にまとめて銀行振り込みで行う。

議事 10. 地域包括システムケア学会演題発表について（別添資料 12）

＜宮川会長より報告＞

- *学会は12月18日（日）に行われる。
- *6月24日（金）までに演題提出の有無と発表内容を送らなければならない。

＜決定事項＞

- ・小林広報部長と話を詰めて返答する。

議事 11. 名誉会員と会費免除会員について

＜宮川会長より報告＞

- *名誉会員と会費免除会員についてどうするか検討していきたい。

＜決定事項＞

- ・後日理事にアンケート調査を行う。

議事 12. 日本臨床検査技師連盟活動について

＜宮川会長より報告＞

- *6月からは松村副会長が香川県支部の執行委員になるように届け出を提出した。
- *理事に対する連盟加入者増加に関する事前アンケート調査結果の報告を行った。

＜決定事項＞

- ・できるだけ職場で説明・勧誘をする。

議事 13. その他

＜宮川会長より報告＞

- *東京商工リサーチから事務局に企業の情報調査票が届いた。香臨技を企業ととらえているようである。
- *事務局に電話があり役員の名前、資本金、収支について前年度と変わりがなければいいかの問い合わせがあった。
- *4年前は荒井前会長が対応した。2年前は無視した。
- *古いデータを修正して提出した方が良いか。

＜決定事項＞

- ・東京商工リサーチの件は無視することに決定した。事務局に電話があったときは宮川会長が対応する。

令和4年5月 31日

一般社団法人香川県臨床検査技師会 令和4年度第2回理事会において

議事録作成者	太田安彦
代表理事（会長）	宮川朱美 ㊞
監事	横内美和子 ㊞
監事	多田達史 ㊞

2022・2023年度 研究班長及び副班長名簿

役 職	氏 名	所 属
会 長	宮 川 朱 美	キナシ大林病院
学 術 部 長	香 西 宣 秀	滝宮総合病院
副 部 長	熊 野 雅 英	オリーブ高松メディカルクリニック四国中検ラボ
会計・書記	田 村 順 子	滝宮総合病院
病理細胞診研究班		
班 長	筒 井 真 人	高松赤十字病院
副班長	安 西 駿 士	四国細胞病理センター
生物化学分析研究班		
班 長	田 村 順 子	滝宮総合病院
副班長	山 本 由 紀	キナシ大林病院
副班長	後 藤 力 美	香川労災病院
輸血検査研究班		
班 長	渡 邊 良	香川労災病院
副班長	鬼 松 幸 子	回生病院
副班長	山 地 瑞 穂	三豊総合病院
微生物検査研究班		
班 長	藤 川 栄 吏	香川労災病院
副班長	松 田 明日香	高松赤十字病院
副班長	大 平 知 弘	三豊総合病院
血液検査研究班		
班 長	杉 理 恵	香川県立中央病院
副班長	細 川 真 誠	(株)四国中検 香川検査所
情報システム研究班		
班 長	熊 野 雅 英	オリーブ高松メディカルクリニック四国中検ラボ
副班長	高 坂 智 則	高松赤十字病院
遺伝子・染色体検査研究班		
班 長	山 川 けいこ	香川大学医学部腫瘍病理学
副班長	新 美 健 太	香川県立保健医療大学
生理検査研究班		
班 長	藤 本 正 和	香川県立白鳥病院
副班長（神経生理）		
副班長（呼吸循環）	大 森 浩 美	回生病院
副班長（画 像）	中 石 浩 己	香川大学医学部附属病院
一般検査研究班		
班 長	竹 内 彰 浩	香川大学医学部附属病院
副班長	石 丸 雄 士	キナシ大林病院
小施設分科会		
班 長	藤 澤 千 絵	宇多津病院
副班長	長 町 美 香	辻クリニック
管理運営部門		
学術部長・副部長兼任	香 西・熊 野	



2022(R4)年度 日本臨床衛生検査技師会

中四国支部医学検査学会(第55回)



共創「CO-CREATION」

「知識」「技術」「信頼」

会 期 令和4年10月22日(土)・23日(日)

会 場 広島国際会議場

学会長 米田 登志男
一般社団法人広島県臨床検査技師会副会長

主催：一般社団法人日本臨床衛生検査技師会
担当：一般社団法人広島県臨床検査技師会

***事前参加登録(会員)受付期間:令和4年6月1日(水)~令和4年8月31日(水)**

***学会参加費: ¥ 5,000**

***参加登録方法: 日臨技会員専用サイトより**

・ 編集後記 ・

新型コロナが中国で報告されてから、約2年半が過ぎましたが、日本ではだいぶ感染者が減ってきています。感染が広がっていた時には、本大学の環境も含めて大きく変わりましたが、最近では元の状態に戻りつつあります。感染対策を行いながらですが、サークル活動を行う学生を目にすることが増えてきました。また、大学の行事に関してもその時の感染状況次第になりますが、今年は行えるような雰囲気になっています。全国的に感染者が減ってきており、このまま普通の生活に早く戻れることを期待しています。



写真は西植田にある勝名寺の紫陽花です。

私が行ったときには少し早く一部しか咲いていませんでしたが、これから梅雨に入る頃にはもう少し見ごろになっているかもしれません。

森西 起也 (香川県立保健医療大学)

～ 香臨技 求人情報 ～

現在、りつりん病院、聖マルチン病院、その他の求人情報があります。詳しくは、香臨技ホームページをご覧ください。

求人募集依頼の連絡先: 森本 弘美 (香川県立中央病院 中央検査部)

アドレス: morippi7chin6445@gmail.com

臨検タイムス原稿送付先

〒761-0104 香川県高松市高松町2365

医療法人社団 海部医院

小林 万代まで

Eメール: kobaboobu0128@hotmail.co.jp

TEL087-843-3666 FAX087-843-3667

***香臨技ホームページ「会員専用」**

(ユーザー名 karingi2008 パスワード 0001)

臨検タイムス香川 通巻 323 号

【発行所】

一般社団法人 香川県臨床検査技師会

〒761-0704 香川県木田郡三木町下高岡2695-13

事務局携帯電話 090-5913-1385

【編集責任者】 小林 万代 藤村一成 太田 安彦

【編集委員】 藤重 和久 森西 起也 森本 弘美

【製作】 有限会社シーアンドシーイシハラ

令和4年6月発行